

# 中部地方整備局の取り組み

- 東海・東南海・南海地震対策中部圏戦略会議
  - ・中部圏地震防災基本戦略【中間とりまとめ】
  - ・各取り組み状況

# 東海・東南海・南海地震対策中部圏戦略会議の概要

東日本大震災を踏まえ、運命を共にする中部圏の国、地方公共団、学識経験者、地元経済界が幅広く連携し、東海・東南海・南海地震等の巨大地震に対して総合的かつ広域的視点から一体となって重点的・戦略的に取り組むべき事項を「**中部圏地震防災基本戦略**」として協働で策定し、フォローアップしていく。

## 東海・東南海・南海地震対策中部圏戦略会議

事務局：中部地方整備局

第1回 平成23年10月4日(設立)



- 座長(奥野信宏 中京大学教授)
- ◆ 学識経験者
- 国の地方支分部局
- 地方公共団体
- 経済団体
- ライフライン関係団体等 計98機関

幹事会 平成23年12月1日

第2回 平成23年12月26日

## 地震・津波対策アドバイザー会議

平成23年11月25日開催



## 分野別検討会

- ・中部地方幹線道路協議会
- ・港湾地震・津波対策検討会議 等

中部圏(5県)市町村(189)

「中部圏地震防災基本戦略」  
【中間とりまとめ】

平成23年12月27日公表

## IV 基本戦略の推進に向けて

基本戦略の実行性を高めるために、次の事項を推進する。

- ・「東海・東南海・南海地震対策中部圏戦略会議」の定期的な開催
- ・各種施策、取組を具体化するためのアクションプランの策定
- ・広域的かつ実践的な地震・津波防災訓練の継続実施
- ・進捗状況の定期的なフォローアップの実施

さらに、中部圏として「優先的に取り組む連携課題」を選定し、重点的に取り組む。

### 【優先的に取り組む連携課題(案)】

1. 災害に強いものづくり中部の構築  
～企業防災・減災と地域連携BCPの普及促進～
2. 災害に強い物流システムの構築  
～多様な輸送モード・ルートの検討等～
3. 災害に強いまちづくり
4. 情報伝達の多層化・充実と情報共有の強化
5. 防災意識改革と防災教育の推進
6. 確実な避難を達成するための各種施策の推進
7. 防災拠点のネットワーク形成に向けた検討
8. 道路啓開・航路啓開等のオペレーション計画の策定
9. 災害廃棄物処理のための広域的連携体制の整備
10. 関係機関相互の連携による防災訓練の実施

# 「7. 防災拠点のネットワーク形成に向けた検討」

幹事：中部地方整備局

## 【これまでの経緯】

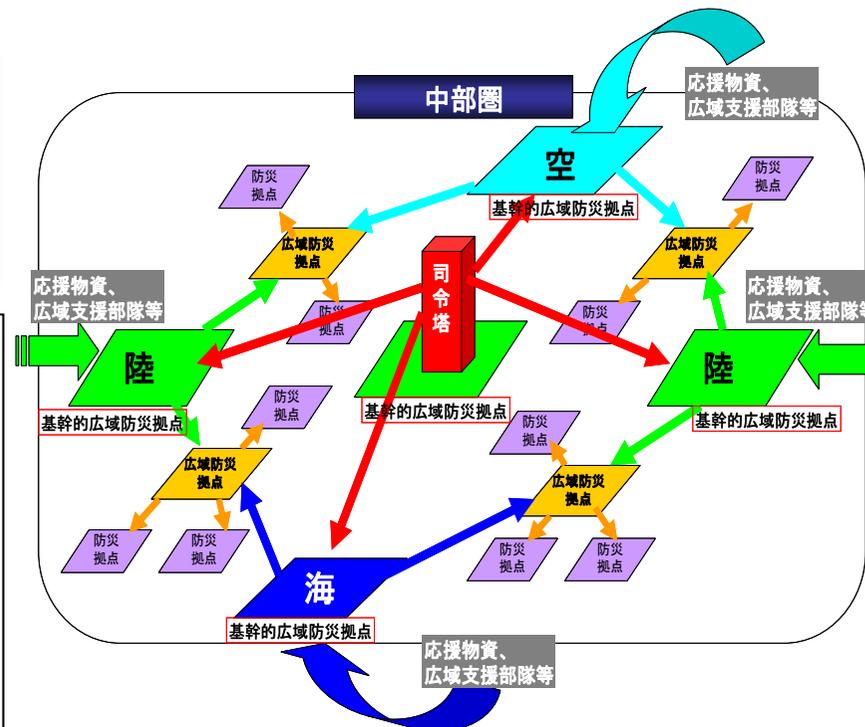
- 関係機関の実務者により中部圏全域を対象とした広域防災ネットワークについて検討してきた。
- 計画を具体化するため以下に取り組むこととする。

## 【取組内容】

- H24.4：「防災ネットワーク形成に向けた検討会（仮称）」設立予定（検討会には実務者によるWGも設置し検討を進める）
- H24.9：検討会における検討結果は、平成24年9月を目途にとりまとめて公表する
- H24.9以降：整備手法、具体化に向けた検討等を進める

## 【検討会の構成（案）】

- 学識経験者(防災、都市分野の学識経験者、NPO)
- 国の機関(中部管区警察局、中部経済産業局、中部運輸局、中部地方整備局)
- 地方公共団体(長野県、静岡県、岐阜県、愛知県、三重県、名古屋市)
- 関係機関(中部経済連合会)



防災拠点のネットワークイメージ

検討会実施スケジュール(案)

平成4年度												
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
★ 第1回 検討会	● 第1回 WG		★ 第2回 検討会	● 第2回 WG		★ 第3回 検討会	☆検討結果のとりまとめ公表予定					
							整備手法、具体化に向けた検討等					

# 道路啓開・航路啓開等のオペレーション計画の策定

- 近い将来の発生が懸念されている東海・東南海・南海地震などの大規模地震に備え、中部地方幹線道路協議会に「道路管理防災・震災対策検討分科会」を設置
- 中部管内の道路管理者間で相互に協力し、被害の最小化を図る方策を検討
- 国、県、政令市等の関係機関が一体となって、「早期復旧支援ルート確保手順(中部版 くしの歯作戦)」を策定

## 平成23年度

### 【早期復旧支援ルート確保手順の策定】

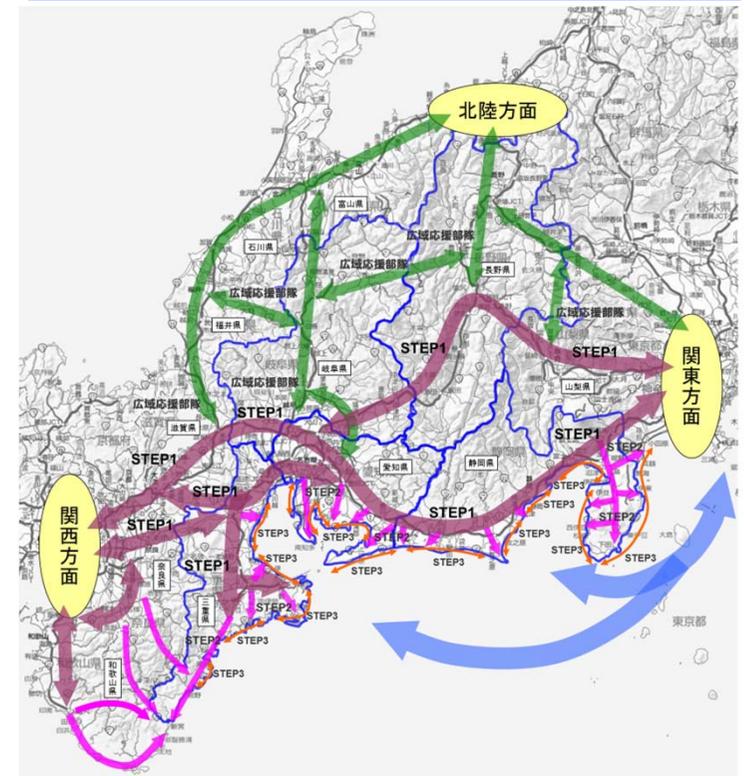
- 道路啓開、復旧・支援ルートの設定
  - 早期復旧支援ルート確保手順の策定
    - ・道路啓開手順の作成
    - ・復旧・支援ルートの設定
  - 信頼性の高い道路ネットワークの確立
    - ・ミッシングリンクの解消等
- 災害に強い道路
  - 致命的な損傷を受けない道路構造の構築、予防保全の実施
  - 安全な避難場所、避難経路の確保と身近な施策の強化
  - 副次的な機能の活用
- 情報共有・情報伝達方法
  - 災害に強い情報通信ネットワークの確保
  - 道路利用者への迅速な情報伝達
- 被災時の支援体制
  - 防災機能の強化・充実
  - 人的・物的支援のルール化
- 復旧方法
  - 復旧方法の検討

(平成24年3月1日記者発表)

## 平成24年度

中央防災会議における新たな知見による想定地震動や津波高さの見直しを踏まえ、必要に応じて前提条件の変更や地震・津波対策等を見直し

### ◇早期復旧支援ルート確保手順(中部版 くしの歯作戦)を策定



# 道路啓開・航路啓開等のオペレーション計画の策定

## 航路啓開オペレーション計画策定

### 津波災害時に懸念される海域の状況

- ・小型船、コンテナ、自動車などの漂流物や沈船などによる航路閉塞
- ・伊良湖水道など湾口部に漂流物が集まる恐れ
- ・危険物施設等からの油流出等による海上災害

### 今後の進め方

- 平成23年度
  - ・中部地方整備局と第四管区海上保安本部は、愛知県・三重県の港湾の航路啓開活動を連携して行うことを「申し合わせ」締結及び航路啓開活動手順(指針)を作成(予定)
- 平成24年度
  - ・港湾管理者等関係機関との連携拡大
  - ・伊勢・三河湾の海上啓開、湾口部の水道航路等について検討
  - ・駿河湾の航路啓開について検討
- 平成25年度以降
  - ・航路啓開オペレーション計画の深化、充実

反映

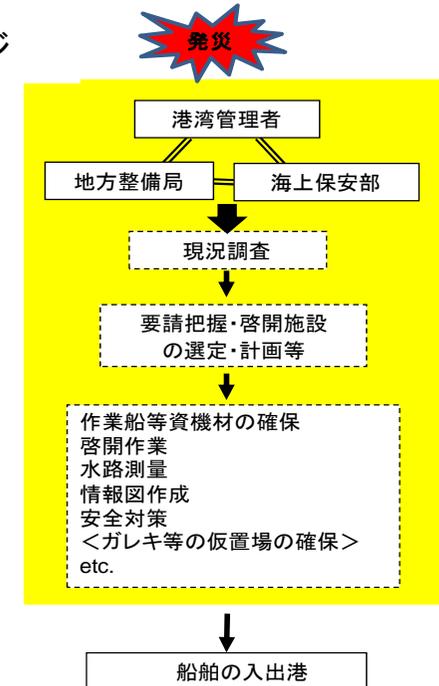
各港の港湾BCP検討委員会(平成24年度から)

反映

- ・各港の地震・津波対策検討会議
- ・港湾の地震・津波対策に関する懇談会



### 啓開手順イメージ



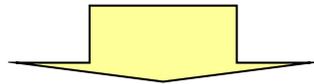
# 道路啓開・航路啓開等のオペレーション計画の策定

## 復旧のための排水計画(案)

### 道路啓開等と連携した排水計画の策定

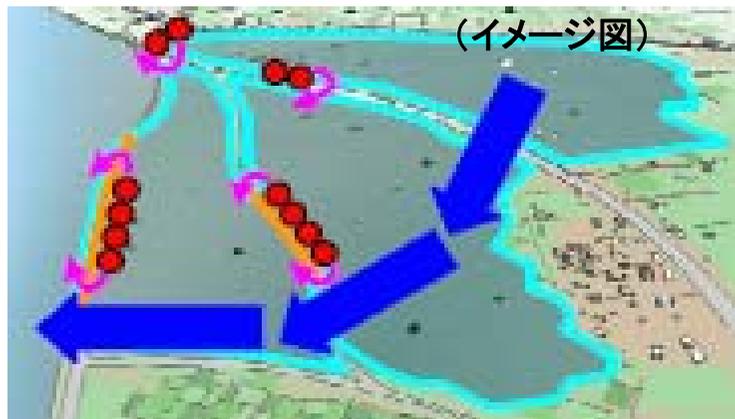
#### 【排水計画(案)の概要】

1. 破堤箇所の応急復旧経路の確保(緊急河川敷道路・堤防道路の活用等を含む)、応急復旧の手順等の確認(資材・重機の調達と搬入含む)
2. 効率的な排水を行うため、地形及び既設排水機場等の把握と、排水ポンプ車の配置計画の策定
3. 防災ステーション・資材集積場等の把握及び配置計画の策定



平成24年度内に策定予定

#### ○排水のオペレーション計画



#### ○濃尾平野排水計画対象エリア(案)

